

科目	単位	時間	履修学年	講師名
成人看護演習	1	30	2	専任教員(公益社団法人 地域医療振興協会に委託)
ねらい	成人期にある対象の健康問題に対し、模擬患者の看護計画を作成し、看護の実際を体験する。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	演習のねらい、方法、学習の進め方について説明 演習事例紹介 データベースの記載			講義
2回目	情報の解釈・分析 (術前アセスメント)			講義
3回目	情報の解釈・分析 (術後合併症) ①			講義・GW
4回目	情報の解釈・分析 (術後合併症) ②			講義・GW
5回目	情報の解釈・分析 (術後合併症) ③			講義・GW
6回目	情報の解釈・分析 (術後合併症) ④			講義・GW
7回目	関連図の記載、問題の統合			講義・GW
8回目	問題リストの整理 (優先順位のつけ方) 計画立案 (共同問題を中心に)			講義・GW
9回目	計画立案 (共同問題を中心に)			GW
10回目	看護計画立案、発表①			GW
11回目	看護計画立案、発表②			GW
12回目	看護計画立案、発表③			GW
13回目	指導案の立案			講義、GW
14回目	指導の実際、発表			GW
14.5回目 (45分)	まとめ			講義
15回目 (45分)	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器 (医学書院) 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 (医学書院) 高齢者と成人の周手術期看護 2 (医歯薬出版株式会社)			
評価方法	筆記試験 (1時間【45分間】: 50点) 看護過程 50点			
備考	今まで学習してきた、解剖生理や基礎看護技術、周手術期看護の知識・技術を活用し、模擬患者で看護過程の展開を行います。 看護過程の復習をして臨んでください。また、疾患、病態メカニズムに加え、生体侵襲から引き起こされる生体反応の理解が必須です。術後合併症を起こさないための治療の理解と、その看護とは何か、しっかり学習して演習に臨んでください。			